

Story : Octopusdave
Art : Shiningpiece



**Happy Point
With
My Sister And Teacher**



フィーロ「普段、フィーロとラフタリアお姉ちゃんの仲がいいけどご主人様を分け合う時によく喧嘩する。そして、お姉ちゃんが年上だからご主人様を独り占めする。」



フィーロ「そんなセリフが大嫌い！フィーロはお姉ちゃんが知ってるより分かる。今日こそお姉ちゃんをわからせてやる」

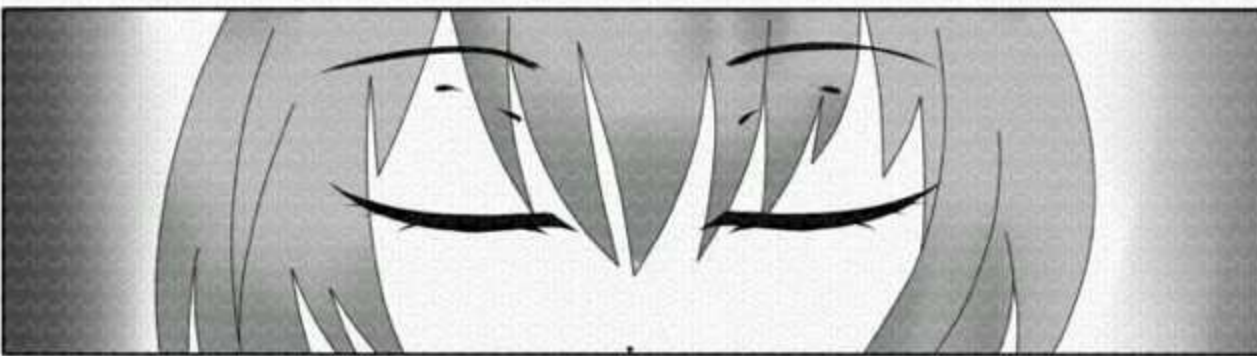


ご主人様が元の世界の話をしてた時に聞きつけた。うまくに利けるかな？



綺麗でしょう？
見て見て

眠い…眠い…眠くなってる…



貴方はフィロリアル女王の
従順な奴隷でしょう？

はい、フィーロ様

上半身脱いで





フィーロ 何千年経ってもフィットリアの胸がそんなにでかくない

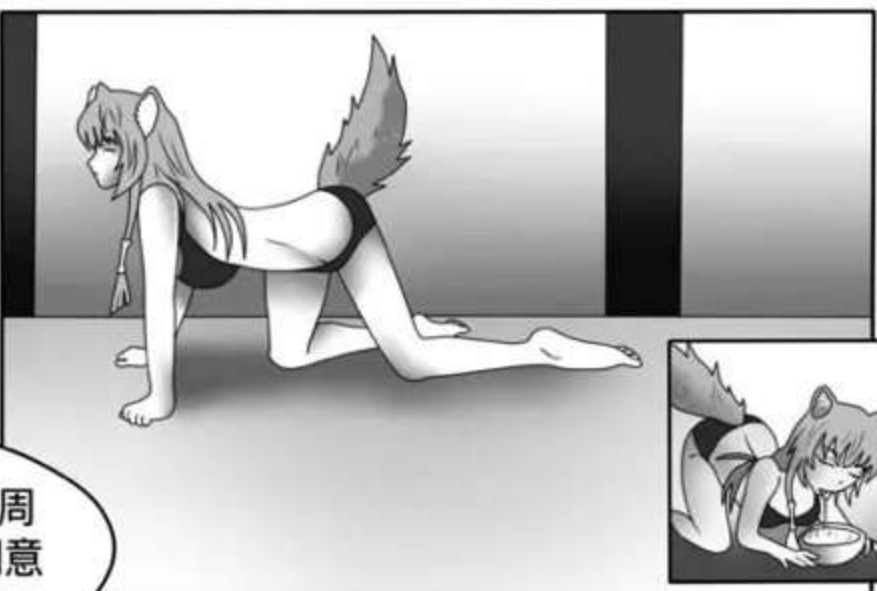


なんで横に座ってる？貴方はただの狸。
狸は椅子に座らない、床に座って

はい、フィーロ様



この部屋の周りを3周して。そうしたら用意した飲み物を飲め



はいフィーロ様 ありがとうございますフィーロ様



普段こんな事をしないけど最近お姉ちゃんの体が大人になってる、それが気に食わない。その上にご主人様と仲良くできる方法を知らない癖にご主人様の一番だと言っている。私達魔物は本能的に交尾をしているのに。



はい、そこまで。立って



目を開けていいよ

はい、フィーロ様



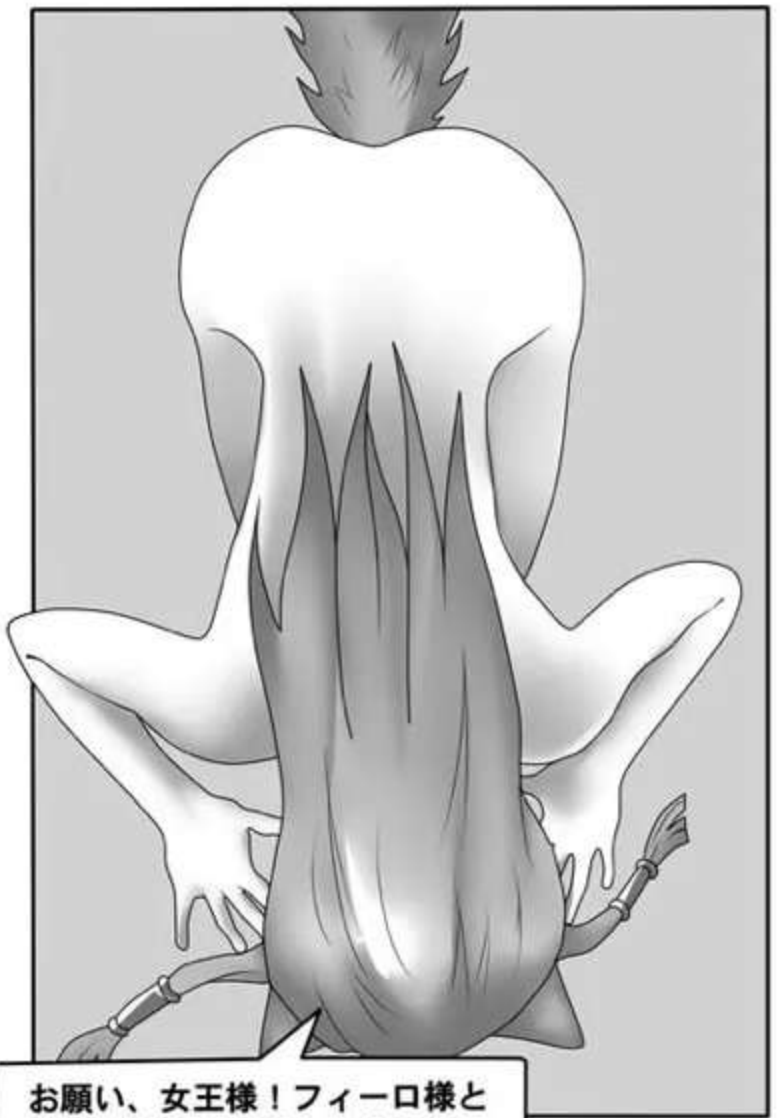
ラフタリアお姉ちゃん、貴方はただの奴隷。ご主人様とフィーロは貴方より上等。フィーロがいる限り貴方とご主人様の関係は進めない！



ご主人様との…関係が…進めない？



でも、いい奴隷でい続けたら…もしかして…



お願い、女王様！フィーロ様とご主人様一生に従いますから！ご主人様に愛されたいから！お願い！何でもします！



なんでも？



いいよ。じゃ、立って、残りの服を脱いで、そして君の正しい姿勢に戻って



女王様を従うために生きています



準備ができました、フィーロ様



面白い所はこれからね



とっても暑いでしょ？ラフタリア

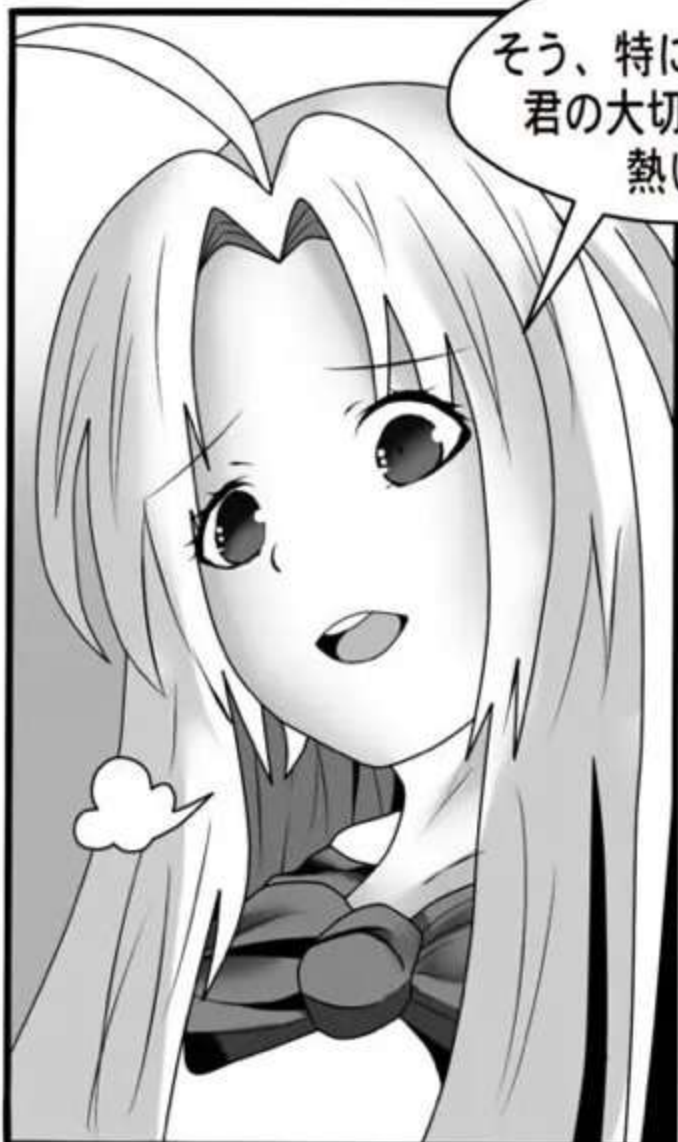


君の体は熱い…とっても熱い…
そしてベタベタだ…

え…はい…
とても暑いです



はい…とても…
熱い…です



そう、特にあそこが。
君の大切な部分が
熱い…



あたしの…あっ!

お姉ちゃんは汗でベタベタだ。
オナニーしたいみたいね

ジンジンしてる。
もう我慢できない



さあ! 触って!



ぢゅるる



おっ！おっ！尚文様！何この気持ち！？すごくいい！あっ！あっ！あっ！そのままに続けてください！お願いご主人様！愛してる！愛してる！愛してる！





これですべきことが分かったね

愛してる、尚文様



はい、フィーロ様。貴方様のおかげでよく覚えました。貴方様の下僕である私にもっと教えてください。





女王様の命令をしたがいます

いいよ!でも、今日はこれくらいにしましょう。元に戻ってちょうだい。でも、「目覚め、女王の奴隷」って言ったらこの状態に戻れ



パチ



えっ?フィーロ?今、何やってたっけ?



ははは

ということで、その後に全ては元に戻った。フィーロ、ご主人様とラフトリアお姉ちゃんは幸せに日々を過ごした。ただ、女王である私は約束を守らなければいけなかった。時に友達でも呼んだ。



そして数日後